



せたがや区議会だより

No. 131

この区議会だよりは再生紙を使用しています

第3回定例会の主な会議日程

- 9月12日 本会議(代表質問)
- 13日 本会議(一般質問)
- 17日 常任委員会
- 19日 特別委員会
- 20日 本会議(議案の議決)



上祖師谷保育園の運動会

- 工事請負契約の締結 4件(全員賛成)
 - 祖師谷小学校体育館増改築工事
契約金額一億七億六〇一四万円 工事概要
鉄筋コンクリート造4階建(体育室、ステレンス製プールなど)
 - 松沢中学校格技室・プール増改築工事
契約金額一億九一三万円 工事概要
鉄筋コンクリート造3階建(格技室、ステレンス製プールなど)
 - 区民健康村富士山ビレシ改修工事

- 3年度各会計補正予算 3件(全員賛成)
 - 一般会計(第一次)
道路・街づくり事業・公共住宅用地の買収、公園の新設、省資源・リサイクル事業の推進、私立幼稚園の保育料の補助金の増額などの予算を追加した。補正額は、一〇八億五二六三万七千円。補正後の予算額は、二二一〇億八二六三万七千円。
 - 老人保健医療会計(第一次)
補正額は、二億七五二万円。補正後の予算額は、三億九億四四三万三千元。
 - 中学校給食費会計(第一次)
補正額は、三三三万七千円。補正後の予算額は、六億五二六三万七千円。

議決された案件の概要を、紹介します。今回の定例会には、区長から18の案件が提出され、すべて原案どおり可決されました。

議決内容

今号では、平成3年第3回定例会での審議内容などを紹介します。今回の定例会は、9月12日から20日まで9日間の会期で開かれました。

各会計補正予算

などを可決

- 条例の一部改正 8件
 - 青少年問題協議会条例(全員賛成)
 - 中小商工業振興対策委員会条例(全員賛成)
 - 消費経済対策委員会条例(全員賛成)
 - 自転車等放置防止条例(全員賛成)
 - 以上4件は、地域行政の推進に向けて、各付属機関に総合支所長を参画させるため、委員定数を変更した。
 - 高齢者借り上げ集合住宅条例(全員賛成)
太子堂住宅(太子堂5丁目24-20)、玉堤住宅(玉堤2丁目3-1)の新設や、上町住宅の戸数を増やした。など。
 - 地区計画の区域内における建築物の制限条例(全員賛成)
建築物の制限を行う地区整備計画に打越地区(大蔵5・6丁目)地区計画を加えた。
 - 区営住宅管理条例
(賛成多数 賛成員:公共生活系、民・無ク) 粕谷4丁目アパート及び桜丘2丁目アパートの使用料を改定した。
 - 公園条例(全員賛成)
桜上水5丁目小緑地(桜上水5丁目5-24)を新設した。
- 財産の取得 1件(全員賛成)
 - 中学校教育用パーソナルコンピュータ(生徒用20台、教師用12台など)
購入金額一億九二八〇万八四〇〇円

- 区民生活委員会へ付託 3件
 - 「東京都青少年の健全な育成に関する条例」の改正に関する請願
 - 中洲工務店の操業にともない発生する生活環境破壊行為並びに迷惑行為の排除を求める請願
 - 交通規制に関する陳情(中町1・2丁目) 4頁につづく

- 採択 5件
 - ◇まちづくり推進に関する請願(三宿1丁目地区)
 - ◇街づくりの促進に関する請願(太子堂4丁目地区)
 - ◇区役所周辺の道路整備に関する陳情
 - ◇上野毛通りの安全対策に関する陳情
 - ◇駐輪場の設置を求める請願(千歳船橋駅周辺)

審議が終了したもの

皆さんから出された請願の審議結果などをお知らせします。

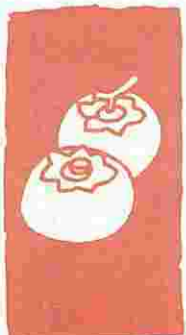
請願

区道路線の認定 2件(全員賛成)	所在地	延長(m)
給田5丁目17・18	一四・五四	
成城5丁目6・7	七四・〇六	

新たに付託されたもの

- 企画総務委員会へ付託 2件
 - 小選挙区制法案に反対し、衆議院の定数不均衡の是正を求める意見書に関する陳情
 - 小選挙区制の導入に反対する請願

公職選挙法の規定により、議員の寄付行為や年賀状などのあいさつ状は禁止されています。



代表質問

初日の本会議で、4人の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その要旨をお伝えします。



二子玉川地区

21世紀を展望した 都市づくり 全力で取り組み

自由民主党

質問 だれもが安心して住み続けられる、やさしさと活力のある自立した都市の実現に取り組むことが重要だ。区のまちづくりに対する基本方針を示せ。二子玉川の再開発では、地域の特色を生かしながら、地元と一体となって、一日も早い実現をめざせ。また、都市計画道路の早期完成を都に強く働きかけよ。

促進に努める。道路整備を一層進めていく。
質問 生産緑地法が改正され、農地の転用が増えると予測される。都市農業や緑の保全だけでなく、区の街づくりなどへの影響が懸念されるが、どう対処するのか。また、地域整備方針の策定にあたっては、地価高騰など、社会状況の変化を十分に考慮せよ。
助役 都市整備部長 地権者の意向をふまえながら、農地の保全と良好な住宅地の形成に取り組んでいく。方針策定では、新たな状況に十分配慮していく。

質問 リサイクルの推進には、幅広い住民の協力が不可欠だ。町会など、組織力のある団体を中心に事業の定着化を図れ。

生活環境部長 区民への情報提供や意識啓発に努めていく。

質問 景気の減速により、税収の見通しが暗い。今後予測される都からの清掃事業の移管などもふまえ、中長期的な視点から財源確保に万全を期せよ。

区長 歳入の確保に一層努める。都区財政調整制度の見直しにも積極的に取り組む。



中央図書館で

質問 余暇の拡大や女性の社会進出など、時代の変化に対応した幅広いサービスの提供が重要だ。勤労者の生涯学習に対する二下調査を実施するとともに、図書館や温水プールなどの利用時間を延長せよ。低年齢児保育や延長保育を拡充し、子育てしやすい環境の整備にも取り組み。週休2日制に伴う完全土曜閉庁の実施にあたっては、休日窓口の開設を検討せよ。また、中長期的展望のもと、財政運営には万全を期せよ。
助役 教育長 福祉部長 区民意識調査の充実を図りたい。生涯学習に関連する施策を積極的に推進していく。保育需要の実態をふまえ、検討していきたい。区民サービスを低下させないよう努めていく。



芦花公園で

質問 他国への主権侵害、干渉など大國主義、覇権主義の誤りを犯したソ連共産党の解体を歓迎する。寝たきり高齢者の増加は、「寝かせきり」にすることが原因の一つだ。寝かせきりを避けるため、訪問看護、

区民要望に応える きめ細かな施策を 積極的に推進せよ

公明党

環境配慮指針を真に実効あるものとするため、環境保護条例の制定に取り組む。また、多摩川沿いの地域を環境モデル地区に指定するなど、環境に配慮したまちづくり事業の展開を図れ。
助役 区民や事業者の協力を得ながら、指針に基づき、環境行政を積極的に推進していく。条例は検討してみたい。緑豊かな地域特性を生かしながら、総合的なまちづくりを進めたい。

健やかに暮らせる 高齢社会の 実現を

日本共産党

訪問リハビリの一層の充実に取り組み。福祉、保健、医療の連携を強化し、総合支所を単位とした地域ケアシステムを確立せよ。そのために、保健婦や理学療法士などの専門職を正規職員として採用せよ。

助役 区民要望に応じた在宅ケアサービスが総合的に展開できるよう、システムのあり方を検討していく。今後とも、マンパワーの確保と資質の向上に努力する。
質問 住宅問題の解決には、短期間に確保できる借り上げ方式が有効だ。土地所有者の協力を得て、住宅に困っている高齢者などへの供給を促進せよ。
区長 地域特別賃貸住宅制度の導入など、多様な手法により住宅供給に努めていく。
質問 小田急線高架化の説明会では、住民の意向を聞く姿勢が見られなかった。区は



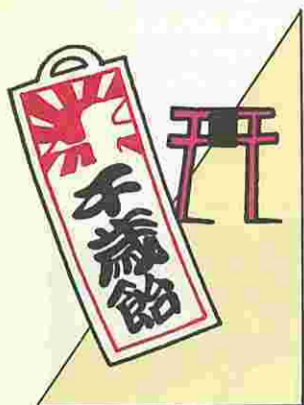
総合福祉センター付近

福祉施策の推進に向け マンパワーの確保に 力を注げ

日本社会党

質問 小選挙区制は、国民の求める政治改革とは程遠いものであり、断固反対だ。区政運営上の影響を慎重に見守っていく。
区長 国会での審議を慎重に見守っていく。
質問 福祉二一三が増大する一方で、福祉を担う人材は不足している。在宅サービスセンターや特別養護老人ホームで質の高いサービスを提供できるよう、専門技術をもった職員の確保、育成に万全を期せよ。福祉マンパワー育成基金を設け、福祉を学ぶ学生や介護技術を習得しようとする区民を、積極的に援助せよ。
助役 福祉部長 重要な課題と認識し、積極的に取り組んでいく。区民の福祉活動を支援するための基金の設置を検討している。
質問 だれにもやさしいまちづくりを一層進めるため、福祉のまちづくり施設整備要綱の条例化に努めよ。

福祉部長 現在、要綱の見直しを進めている。その結果を待って判断したい。
質問 保育室・保育ママ制度は、多様化する保育需要に応える重要な役割を担っている。都には両制度を廃止する動きがあるが、存続させるよう強く働きかけよ。廃止された場合には、区が独自に実施せよ。
助役 保育所を補完するものと位置づけ、制度を運営していく。
質問 区内の貴重な緑が年々減少している。中長期的な目標を立て、緑の保全、創出に努めよ。トラスト協会の積極的な活用も図れ。保存樹木を区で買い取るなど、簡単に伐採されないよう、保護策を講じよ。
区長 助役 公共施設の緑化、トラスト運動の推進、啓発活動の強化などに全力を尽くしたい。保存樹木も増やしていく。



一般質問

2日目の本会議では、11人の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その要旨をお伝えします。



良好な環境の保全・創出を

公明 部の工事を受託した業者が流した廃水が原因で、野川の魚が大量に死ぬ事故があった。再発防止に向け、対策を講じよ。
生活環境部長 廃水を流した業者を厳しく指導した。今後も良好な河川環境づくりに向け、指導、PRに努めていく。
共産 カラオケボックスの近隣住民は、深夜に及ぶ騒音などで住環境を破壊され、多大な迷惑を受けている。指導指針を策定するなど、区の取り組みを強化せよ。

都市整備部長 良好な生活環境を維持できるように、早急に設置や管理に関する指導基準を検討したい。
生活系 潤いのある生活環境の形成をめざし、緑の保全、創出に全力をあげよ。緑を大切に育てる心をはぐくむために、身近な樹木を保存樹に指定するとともに、落葉対策に取り組み。公共施設の緑化も一層進めよ。
また、貴重な緑地空間である農地の保全に力を注ぎ、担い手のない農地は、区民農園や公園用地として積極的に活用せよ。
助役 産業振興部長 区民の理解と協力を得て、緑化施策を推進していく。スペースを有効に活用し、施設緑化に取り組む。今後とも、農業の振興に努めていく。
公明 遅れている砧南区民センターの建設を急げ。また、完成までの代用施設として、鎌田区民集会所を拡張せよ。
助役 砧総合支所長 都市開発室長 予定

地周辺の区画整理を促進し、5年度には着工したい。集会所の移設を検討している。
民社・無ツ 4月の区議選の投票率は、過去最低を記録した。選挙に対する区民の意識を高めるため、明るい選挙推進委員活動の活性化を図ると、啓発事業に力を注ぎ、また、公営ボスター掲示場の増設にも取り組め。小中学校での公民教育を充実せよ。
教育長 総務部長 区民の積極的な政治参加に向け、推進活動の支援に努めたい。掲示場は、慎重に検討したい。民主主義の基礎となる選挙に関する教育の実践に努める。
生活系 地下水の涵養を図る雨水浸透設備の普及に向け、PR活動を強化するとともに、設置の助成要件を緩和せよ。また、雨水を貴重な資源として有効活用せよ。
生活環境部長 様々な機会をとらえ、設置を促したい。雨水利用のあり方を検討する。
保守無 清掃工場や処分場などゴミ問題を根本的に解決する方策なしに、収集運搬を区に移管しようとするは、実現不可能な指令指定都市を予定して総合支所を廃止させたのは問題だ。堅実な区政運営に努めよ。
企画部長 ゴミ問題にきめ細かく対応していくためには、収集と運搬は区が担当するのが適当だと国、都区ともに判断している。
行革推進 急速に成長する株式会社世田谷サービス公社に対する、株主としての区の指導方針が不明だ。公社の資金計画などを厳しくチェックし、議会に報告せよ。今後の株主配当は、どのような形で進んでいくのか。社屋の賃貸料減免などの優遇措置も改めよ。公社の活性化に向け、経理の専門知識を備えた職員育成に努めよ。また、区が美術振興財団に管理運営を委託している美術館のレストランを、財団が勝手に第三者である公社に営業させている。適

正な契約手続きに改めよ。
区長 企画部長 区民福祉の向上をめざし、議会とも相談しながら幅広い事業展開を図っていく。効果的な配当方法を考えたい。公社だけの特別な取り扱いはいらない。人材育成にも努めていく。レストランも含めて、管理運営を財団に委託したい。
保守無 ソ連共産党が解体したが、これは社会主義そのものが崩壊したことを意味し、西側社会主義政党に対する影響も多大である。区長の見解を示せ。また、こうした情勢のもと、区長はどのような立場で区政運営に臨むのか。区長の政治哲学も示せ。
区長 覇権主義が破綻したことを歓迎するとともに、ソ連の政治経済の一日も早い安定を期待する。今後とも、市民レベルでの文化交流を通じて世界平和に寄与していく。



働く女性を支援する保育行政を展開せよ

社会 保育園児をもつ女性が育児休業を取った場合、園児が退園させられてしまう。園に残るかどうかは母親の選択に任せよ。また、復職時の再入園を保障せよ。
福祉部長 働く女性が安心して子どもを産み育てられる環境の整備に向け、対応策を考えていきたい。
自民 高齢社会を迎え、要介護高齢者の増加が予測される。寝たきりを予防する施策の一環として、幅広い生きがい対策を推進せよ。また、モデル地区を設置するなど、高齢者への給食サービスを一層拡充せよ。
助役 高齢対策室長 寝たきりの予防に向け、総合的に施策を展開していく。切実な区民要望に応え、事業の拡大に努めたい。
公明 目の病気を早期に発見、治療するため、医療機関と連携してきめ細かな眼科検診を無料で実施せよ。また、白内障の治療には人工水晶体手術が効果的だが、費用が高い。助成制度の創設を急げ。
区長 衛生部長 総合的な眼科検診については、研究したい。費用の助成を積極的に検討していく。

社会 麻薬や覚せい剤による汚染が深刻な社会問題となっている。区民の健康を守るため、啓発活動を強力に推進せよ。
衛生部長 都との連携を密にしながら、PR活動に努める。



道路整備に積極的に取り組め

自民 まちの骨格となる道路づくりに全力をあげよ。都市計画道路の早期完成に向け、都の道路事業を受託するなど、新たな手法を検討せよ。組織体制の強化も図れ。狭い道路の拡幅にも力を注ぎ、また、南北バス路線の拡充に取り組め。
区長 助役 道路整備部長 都との連携を図りながら、今後とも道路整備を推進していく。整備方針の策定を急ぎたい。バス事業者との調整に努めていく。

自民 小田急線高架化の早期実現は、「開かずの踏切」の解消や、沿線地域の発展に欠かせない。立体化事業を契機として、まちづくりを強力に進めるとともに、駅周辺の商店街の活性化を図れ。高架下には、地域住民の要望をふまえ、駐輪場などの公共施設の設置を検討せよ。また、羽根木公園の拡張用地をどう整備していくのか。
助役 産業振興部長 道路整備部長 活力ある安全な沿線まちづくりに取り組んでいく。融資制度を拡充するなど、積極的に



駒沢公園で

商店の支援に努める。鉄道会社などと協議していく。整備方針を検討している。
自民 目蒲線の改良計画では、奥沢駅付近だけが地表式となっている。「開かずの踏切」の解消に向け、地下化を促進せよ。
道路整備部長 区民要望をふまえ、都や東急電鉄に働きかけていきたい。
自民 区民が快適に日常生活を送れるよう、地域の核となるまちの整備に全力をあげよ。また、再開発の推進にあたっては、近隣商店街の振興策を強化せよ。
助役 産業振興部長 地域特性を生かしたまちづくりを進めていく。商店街が共存共栄を図る方策を考えていきたい。



駐車場の整備に努めよ

自民 駐車場不足の解消に向け、公園の地下などを活用して、公共駐車場の設置に全力で取り組め。
助役 休日には公共施設の駐車場を開放するなど、多様な手法で確保に努めたい。
公明 二子玉川駅や上野毛駅の周辺には、放置自転車が多量に多い。国道の高架下や

掘割式の線路の上などを活用して、駐輪場を早急に建設せよ。
建設部長 地域住民や国、鉄道会社などの協力を得て、設置に努めたい。
自民 放置自転車対策の拡充が急務だ。啓発活動を強化し、利用者のマナー向上を図れ。駐輪場の増設にも努めよ。また、スパーなどの駐輪場の適切な管理を指導せよ。
建設部長 地域と一体となって、放置防止策を展開していく。
公明 放置自動車の増加が、深刻な社会問題となっている。製造者責任を強化する廃棄物処理法の早期改正を国に働きかけよ。区としても、放置自動車の処理対策や放置防止対策に努めよ。また、公園や公共施設の地下を活用し、公共駐車場を建設せよ。
助役 建設・道路整備部長 法改正を働きかけたい。自動車業界の動向などをふまえ、具体策を講じていきたい。駐車場整備方針を策定するなかで、検討していく。



学校給食の一層の充実を図れ

共産 学校給食を、食に関する教育の場として発展させていくことは行政の責務だ。2校に1名しかいない正規職員の栄養士を、全校に配置せよ。当面、アルバイト栄養士を給食の日数分雇用せよ。また、食料費がかかる消費税相当額を区で負担することにも、牛乳代の補助制度を復活させよ。
教育長 学校教育部長 全校配置を都に要望している。日数は、現場の実態をふまえて検討したい。ランチルームや食器類の改善など、食環境の整備に力を注いでいく。
社会 学校5日制が導入された場合、教育内容の簡素化が必要だが、カリキュラムはどうするのか。また、休日となる土曜日の過ごし方は、どのように指導していくのか。
教育長 国や都の動向をふまえながら、導入に備えて準備を進めていきたい。

民社・無ツ 民主的な教育行政を進めるため、教育委員会の付属機関に住民代表である議員を参画させよ。生涯学習では、庁内体制を整備するとともに、コミュニティ事業と社会教育事業の一本化を図れ。
教育長 社会教育部長 付属機関の目的に沿って、委員を委嘱している。今後も、区民の学習意欲に応える施策の展開に努める。

次回の区議会定例会は11月5日～28日に開かれる予定です

区長の区議会招集 あいさつ(要旨)

区民要望に心える 施策を一層推進

雲仙の火山噴火などで災害への関心が高まるなか、9月1日に、総合防災訓練が実施されました。また、8月27日には、避難時の障害となる放置自動車を取り除く協定を、自動車整備・販売団体と結びました。今後とも、災害から区民の生命と財産を守る施策を推進していきます。

本年は、当区と川場村とが区民健康村協力協定を結んでから10周年にあたり、多彩な記念行事が行われました。川場村との交流がさらに深まるよう努めます。

世田谷美術館では、湾岸戦争のため延期されていた「フレンチ・エルネサンス

芸術と修復展」が開かれます。今後も文化や芸術を通じて世界の国々と交流を深め、世界平和に寄与してまいります。

小田急線の線増連続立体交差事業にあわせて、都市計画の変更を行います。内容は、成城学園前駅付近では掘削式にすること、沿線に側道を設けること、駅のホームの延長及び石仏公園の区域変更などです。この計画により17カ所の踏切が解消され、交通渋滞の緩和や、道路、鉄道双方の安全性が確保されます。また、沿線地域の街づくりの進展が期待できます。区民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

今後とも、区意識調査の結果を十分にふまえ、リサイクル事業や高齢者施策の充実、道路整備や再開発など安全で住みよい都市づくりに努めてまいります。

要望書

区議会は、次の要望書を関係機関あてに提出しました。

証券・金融不祥事の徹底究明と再発防止に関する要望書

最近、証券会社による大企業や大口顧客等に対する損失補てんや金融機関による不正融資など、いわゆる証券・金融不祥事に関する一連の報道がされていることに対して、証券・銀行両業界への強い不信感が示され、大きな議論を呼んでいます。

国会でも真相の究明が行われているところですが、さらに証券取引法の改正や監視体制の強化など、今回の不祥事を契機に問題の抜本的な解決を図ることが必要であります。

貴職におかれては、真相の徹底究明と適切な再発防止対策を進めて、一日も早く国民の信頼を回復されますよう、強く要望いたします。

9月18日提出 9月20日議会報告
内閣総理・大蔵大臣あて

第8次治水事業5箇年計画における事業費の確保に関する要望書

当区を流れる多摩川は、都市に残された貴重な自然環境であり、区民にも憩いの場として広く親しまれています。にもかかわらず、その水質や自然は都市化により悪化したままとなっているため、水質改善や自然の保全など河川環境の整備を望む声が高まっております。当区においても、汚濁の激しい支川の浄化を初めとして、清流復活の促進や快適な水辺環境の創出に努力を重ねるところであります。

また、一方では、河川が氾濫した場合に区民の生命、財産に及ぼす被害は、計り知れないものがあります。治水事業は、区民の安全な生活を保障するものであり、生活基盤整備の中でも基本的かつ緊急な事業であります。しかし、近年の厳しい財政状況により、治水事業の遅延を余儀なくされております。

政府におかれては、平成4年度から始まる「第8次治水事業5箇年計画」において、実行計画を大幅に上回る事業費を確保し、安全で活力ある国土基盤の形成、潤いと触れ合いのある水辺環境の創出等の治水事業を強力に推進されるよう強く要望いたします。

9月18日提出 9月20日議会報告
内閣総理・大蔵・建設・自治大臣、国土庁長官あて

「せたがや区議会のほなし」が新しくなりました

区議会に対する皆さんの理解と関心を深めていただくためのリーフレット、「せたがや区議会のほなし」の平成3年版を発行しました。

区議会の仕事や仕組みを分かりやすく説明したもので、区役所ロビーや出張所、区民センターなどに用意してあります。このリーフレットをご覧になり、区議会をより身近に感じていただければ幸いです。

請願のつぎ

- 福祉保健委員会へ付託 7件
 - 老人保健法等に関する陳情
 - 看護婦確保法の制定と東京都来年度予算に関する陳情
 - 野良ネコの不妊手術に関する陳情
 - 学童クラブへの公費補助に関する請願
 - 老人保健法改正案の廃案を求める意見書に関する陳情
 - 玉堤地域への学童クラブ設置に関する請願
 - 白内障人工水晶体(眼内レンズ)に関する請願
- 都市整備委員会へ付託 2件
 - 喜多見駅前広場地下駐輪場設置に関する請願
 - 中洲工務店の建築基準法、都市計画法、風致地区条例に違反する建物並びに設備、工作物の取締まり及び適法化を求める請願
- 文教委員会へ付託 1件
 - 少年硬式野球場の設置に関する陳情
- 交通対策委員会へ付託 3件
 - 小田急線の立体交差化事業に関する請願
 - 梅が丘以東に於ける小田急複々線地下化並びに下北沢街づくりに関する請願
 - 小田急線地下複々線事業の促進に関する請願
- 下水道・国公有地等対策委員会へ付託 1件
 - 東名高速道路下を地元住民・中小業者に開放することを求める請願(多摩堤通り(多摩川土手))

ふるさと せたがや —あの頃この頃—

今号では、昭和20年代半ばの東急玉川線駒沢停留所付近の風景をご紹介します。この路線は昭和44年5月に廃止されましたが、写真の場所は、現在の国道246号線と駒沢公園通りの交差点西側あたりです。当時は、現在と違って高い建物もあまりなく、空が広く感じられます。

玉川線は、多摩川の砂利を土木工事用として都心に運搬することを営業目的のひとつに掲げ、明治40年に玉川電鉄(後に東急電鉄と合併)によって敷設されました。この渋谷と玉川間の路線開通により、沿線地域の宅地開発も進み、乗降客も大幅に増加しました。また、この地域は、関東大震災後の急速な都心人口の郊外移転に伴い、近郊住宅地として急速に開発されていきました。

さらに時代をさかのぼると、現在の情景からは想像もできませんが、駒沢、駒場方面には明治20年代から練兵場や兵営などがつくられ、軍の施設を中心とした地域となっていました。

玉川電鉄も今では三軒茶屋と下高井戸間を結ぶ東急世田谷線に当時の面影を残すのみとなり、周辺一帯の街並みも写真の時代とは大きく様相を変えています。良好な環境を保ちながら調和のとれた発展が望まれます。

また、この近くには昭和39年に開催された東京オリンピックの会場となった、駒沢公園があり、健康づくりや緑豊かな憩いの場として、区民に親しまれています。

現在の様子

「せたがや区議会のほなし」が新しくなりました

区議会に対する皆さんの理解と関心を深めていただくためのリーフレット、「せたがや区議会のほなし」の平成3年版を発行しました。

区議会の仕事や仕組みを分かりやすく説明したもので、区役所ロビーや出張所、区民センターなどに用意してあります。このリーフレットをご覧になり、区議会をより身近に感じていただければ幸いです。

議員の住所変更

中嶋義雄(公明) 代田1丁目25番5号101
☎(三七九五)二九三二

新田勝己(自民) 等々力5丁目25番16号202
☎(五七〇六)八四八七

編集後記

紅葉、スポーツ、収穫、学園祭……。秋といったら思い浮かぶイメージは本当にたくさんあります。読書やハイキングなど、このさわやかな季節の自分らしい過ごし方を探してみましよう。心の奥まで静かに届く充実感が、きっと味わえることと思います。

11月に開かれる第4回定例会では、2年度決算などが審議されます。会議の様子は、傍聴することができますので、ぜひおいでください。

区議会に関するお問い合わせは、区議会事務局までお寄せください。

☎(三四二二)一一一一